

東日本大震災 復興記録誌

第6章 資料編

年表

東松島市災害支援協定等締結一覧

東松島市に職員を派遣いただいた自治体一覧

復興交付金執行状況

年表

平成22年度(2010年4月～2011年3月)

- 3月11日14時46分 東北地方太平洋沖地震発生
東松島市災害対策本部を設置。市職員全員に第3号非常配備
電気・水道はすべて使用不能。固定電話・携帯電話は通話不能。15時40分ごろ津波第1波が到達。宮戸島、野蒜海岸、浜市、大曲浜に津波が襲来し、住宅家屋が流失。内陸の大曲・赤井・小野・矢本市街の家屋も浸水。日没から雪が降り出し、浸水状況や避難状況が把握しにくくなる
- 12日、一夜明け、市内の被災浸水被害の実態が徐々に判明。市街地の約65%が浸水
松ヶ島橋(県道奥松島松島公園線)の接続部が崩壊(約1カ月間、宮戸島が孤立)
自衛隊などによる救助捜索避難支援が始まる
避難所に集まった被災者は最大1万5千人規模に
- 13日、散乱した災害廃棄物の撤去開始。災害廃棄物置き場を選定
- 19日、多くのボランティアが来市し、市社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を設置。北海道更別村をはじめ国内外から支援物資が届く
- 20日、死者が多数となり火葬が追い付かず、仮埋葬(土葬)の実施を決定(市営墓地、場所:大塩字引沢、旧河南地区衛生センター跡地内)。仮埋葬者は369人になる
日本赤十字社で矢本保健相談センター、市役所鳴瀬総合支所に臨時救護所を開設
- 22日から電気の通電や水道の通水、固定電話・携帯電話の通話が徐々に回復。このころから約2週間、ガソリン不足が深刻となり、市内のガソリンスタンドにガソリンを求める車が長蛇の列に
- 24日、一部の幼稚園、小・中学校で卒業式が始まる。31日までに市内すべての学校で卒業式を実施

平成23年度(2011年4月～2012年3月)

- 4月 4日、家屋の「り災証明」の発行を開始
- 7日、最大余震が発生。東松島市では、震度6弱(M7.2)。このころまでに市内全域のほとんどで回復しつつあった電気・水道が再び使用不能になり、固定電話・携帯電話も一時通話不能。復旧水準までの回復に数日かかる。余震直後の市内は高台への避難者の車で大渋滞。翌日午前2時過ぎまで避難者の避難と帰宅の移動多数
- 10日、菅直人内閣総理大臣(当時)が石巻地方を視察
- 11日、東松島市震災復旧・復興指針を策定
- 21日、このころから仮設住宅の建設(第1次～)が急ピッチで始まる
市内小・中学校の入学式が行われる(～22日)
- 28日、仮埋葬場(市営墓地)で四十九日法要が執り行われる
- 30日、ご遺体収容数が1,022人となる
- 5月 2日、仮設住宅第1次分が完成し入居を開始(8月末までに、1,727戸が建設・入居が完了)。デンマークからの支援金によるスクールバスが運行開始
- 6月 1日、市街地と仮設住宅などを結ぶ市内循環バスが運行開始
- 13日、東松島市震災復興基本方針を策定
- 18日、震災発生から100日の節目に、東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:航空自衛隊松島基地整備格納庫)を執り行う
- 19日から市災害対策本部は市震災復興本部へ移行
- 7月 4日、矢本学校給食センター(当時)の再稼働により、市内小・中学校での完全給食が再開
- 16日、JR仙石線石巻～矢本駅間が運行再開
- 19日、東京都大田区と「災害時相互応援協定」を締結
- 8月 13日、市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターが「生活復興支援センター」に移行
- 20日、東松島元気フェスタを開催(ブルーインパルス展示飛行・打ち上げ花火・夏祭りなど)
- 31日、避難者の仮設住宅への入居完了に伴い、市内の全避難所を閉鎖
- 9月 21日～22日、台風15号が宮城県内に最接近し、定川沿いの大曲・赤井地区の世帯に避難勧告を発令



- 10月 1日、被災者サポートセンターの運営を市社会福祉協議会に委託
17日、津波で通行不能となっていた定川大橋（県道石巻工業港矢本線）が仮橋で通行再開
- 11月 3日、ヨーロッパ連合（EU）のアシュトン外相が来市。市内の仮設住宅などを視察
5日、埼玉県東松山市と「災害時相互応援協定」を締結
7日～12日、集団移転等に関する説明会（第1回）を地区別に巡回開催
- 12月 11日、山形県東根市と友好都市盟約・災害時相互援助協定を締結。東松島市復興まちづくり基本方針を議決
震災直後から多岐にわたっての支援を頂いた福岡県と熊本県自治体職員「福岡県職員支援チーム」「チーム熊本」が派遣終了
22日、東松島市が政府の新成長戦略に位置付けられた「環境未来都市」に選定
- 1月 野蒜小学校の仮設校舎がケアハウスはまなすの里敷地内（小野）に完成し、授業開始
大曲浜獅子舞が復活し勇壮な舞を披露
- 2月 被災したJR仙石線陸前赤井駅の新駅舎が完成
法テラス東松島が開所
第84回選抜高校野球大会に21世紀枠で石巻工業高校野球部の出場が決まり、東松島関係選手が市役所を表敬訪問
- 3月 震災発生から1年の節目に、平成24年東日本大震災東松島市慰霊祭（場所：航空自衛隊松島基地整備格納庫）を執行行う
震災の影響で閉館していた奥松島縄文村歴史資料館が再オープン。開館20周年を迎える
東京・銀座プロッサムで市内の被災者などが中心となり演じる、感謝のミュージカル「とびだす100通りのありがとう」を上演
震災の影響で不通となっていたJR仙石線矢本～陸前小野駅間が運転を再開
美里町と災害時における相互応援協定を締結

平成24年度（2012年4月～2013年3月）

- 4月 東松島市学校給食センター（PFI 事業）が完成し稼働
JR仙石線陸前大塚～陸前小野駅間の早期復旧に関する覚書を締結
松島町と災害時における相互応援協定を締結
大崎市と災害時における相互応援協定を締結
- 5月 埼玉県富士見市と災害時における相互応援協定を締結
- 6月 小野小学校でサッカー日本代表の岡崎慎司選手と酒井高德選手によるサッカー教室が開催
市内の津波浸水域を中心に「津波防災区域」を指定。同区域内での建築制限や津波避難の目安となる
- 7月 宮戸小学校の太陽光発電装置が完成
東松島市建設業協会が災害廃棄物の木材を利用して育てたカブトムシを希望する市内小・中学校、幼稚園・保育所の子どもたちに寄贈
- 8月 大曲浜地区で震災慰霊碑が完成。東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催（2年ぶりの開催）
鷹来の森運動公園で野球場リニューアル記念事業少年野球教室が開催
東松島夏まつり2012が開催（2年ぶりの開催）
- 9月 鳴瀬地区小・中学校の統合校開設に向けて、小野小学校と浜市小学校の統合校名が「鳴瀬桜華小学校」に、鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校の統合校名を「鳴瀬未来中学校」とする条例案が市議会にて可決
- 10月 「環境未来都市」構想の実現へ向け産・学・官・民の連携を橋渡しする一般社団法人東松島みらいとし機構（愛称:HOPE）が設立
- 11月 ドイツ・シュトゥットガルト室内管弦楽団東松島市公演が開催
岐阜県美濃加茂市と「災害時相互応援協定」を締結
集団移転団地ごとにまちづくり整備協議会が設立され、住みよいまちづくりのために話し合いがはじまる
- 12月 第45回やもとクロスカントリーが開催（2年ぶりの開催）
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとエボニック・デクザ・ジャパン（株）の復興支援により、新しい矢本東保育所が矢本字大溜地内（市図書館東隣）に完成

- 1月 第89回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)に出場した、青山学院大学2年(当時)の高橋宗司選手(野蒜出身)が8区(復路)区間賞を獲得
第65回奉獻乾海苔品評会で手代木浩二さん(県漁協鳴瀬支所所属・平岡)が優賞。震災からの復興を目指す東松島の「のり」が皇室御献上の荣誉に輝く
- 2月 小松・大曲・赤井地区の三陸自動車道の道路敷法面6カ所に、津波避難階段が完成
女川原子力発電所からおおむね30km圏内が「緊急時防護措置を準備する区域(U P Z)」に指定されたことから、東松島市地域防災計画(原子力災害対策編)を策定
- 3月 震災発生から2年の節目に、平成25年東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:東松島市民体育館)を執り行う
2～3月までに「鳴瀬桜華小学校」として統合される小野小学校と浜市小学校、「鳴瀬未来中学校」として統合される鳴瀬第一中学校と鳴瀬第二中学校にて閉校式が行われる
震災の影響で九州に一時避難していたブルーインパルス(航空自衛隊アクロバット曲技飛行チーム)が航空自衛隊松島基地に帰還
東松島「絆」カーポートソーラー(カーポート型太陽光発電設備)が市コミュニティセンター・鷹来の森運動公園・大塩市民センターの3カ所の敷地内に完成

平成25年度(2013年4月～2014年3月)

- 4月 「鳴瀬桜華小学校」「鳴瀬未来中学校」が開校。鳴瀬桜華小学校の校歌は歌手の中村雅俊さんが、鳴瀬未来中学校の校歌は歌手の加藤登紀子さんが制作
- 5月 安倍晋三内閣総理大臣が東松島市内の復興状況を確認するため、航空自衛隊松島基地と野蒜北部丘陵地区の集団移転先の造成地を視察
- 7月 リサイクル率99%を実現した「東松島方式の震災がれき処理」では、被災した住民を雇用し、手選別作業等により処理コストを大幅に削減
宮戸・月浜海水浴場が3年ぶりに日曜限定でオープン
- 8月 奥松島「絆」ソーラーパークが完成
- 10月 震災により休止していた嵯峨溪遊覧船が「奥松島遊覧船」として再開
- 1月 第66回奉獻乾海苔品評会で、県漁協鳴瀬支所所属の石垣久氏が優賞に選ばれ、皇室に献上される
- 2月 愛知県小牧市、清須市、北名古屋市、豊山町と「災害時相互応援協定」を締結
- 3月 大曲浜保育所が閉所し、大曲保育所に統合
津波監視カメラを市内沿岸4カ所に設置・本格運用開始
市内で最初の災害公営住宅254戸の入居が開始するにあたって、市営小松南住宅にて災害公営住宅の鍵引渡し式を開催
旧野蒜駅舎が地域交流施設に改修
愛知県豊田市と「災害時相互応援協定」を締結

平成26年度(2014年4月～2015年3月)

- 5月 2014チャレンジデーin東松島が開催。鹿児島県南さつま市に勝利。平成22年の初参加以来、参加4回目での初勝利となる
- 7月 (株)橋本道路と一般社団法人東松島みらいとし機構(愛称:H O P E)が連携し、アメリカ海洋大気庁が開発した科学地球儀を日本で初めて展示する施設「ディスカバリーセンター」を小野地区に開設
集団移転先5団地166区画が完成し、宅地引渡し式を開催
- 8月 福岡県豊前市と「災害時相互応援協定」を締結
- 11月 飾り金具付き帯とよばれる古代のベルトが奈良・平安期の矢本横穴墓群から出土
- 12月 宮戸小・野蒜小の統合小学校の名称として、両校学区内の住民などによる投票により「宮野森小学校」が選出される

平成27年度(2015年4月～2016年3月)

- 3月 天皇・皇后両陛下が東松島市をご来訪され、震災復興状況を視察
- 4月 市制施行10周年を迎える



- 5月 震災で被害を受けたJR仙石線陸前小野駅－高城町間および野蒜駅・東名駅の駅舎が野蒜北部丘陵の高台へ移転新設し、全線で運行を再開
市工務店組合による災害公営住宅91戸(牛網、矢本西、室浜、大浜、月浜)が完成
- 6月 東松島市健康増進センター「ゆふと」の施設利用者が100万人を達成
- 7月 国際協力を通じた地域創生に向け、独立行政法人国際協力機構(JICA)と戦略的合意文書を締結
- 8月 災害公営住宅「市営柳の目東住宅」(赤井)85戸が完成し、入居者に鍵を引き渡した
東松島市合併10周年記念のサッカーフェスティバルを鷹来の森運動公園で開催
- 9月 市内最大の防災集団移転地「あおい地区」(東矢本駅北地区)の宅地引き渡ししがすべて完了
- 10月 国交省仙台河川国道事務所と県が三陸自動車道に新設した石巻女川インターチェンジ(IC)と接続道の県道石巻女川インター線が開通
東松島市コミュニティセンターで「第10回ひがしまつしま市民文化祭」開催
- 11月 埼玉県東松山市と友好都市盟約を締結。両市のキャラクターのイート(東松島市)、まっくん(東松山市)立ち会い
一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団(C.W.ニコル理事長)は、野蒜地区の復興の森に「森と対話する場所(サウンドシェルター)」を整備
- 1月 奥松島ビーチハウス組合が手作りの鳥居を設けて初日の出客を出迎え。5年ぶりにたこ揚げや、嵯峨溪での初日の出クルーズが復活
- 2月 野蒜小と宮戸小を統合した宮野森小学校の校歌完成お披露目を開催。歌手の加藤登紀子さんが作詞作曲した校歌「森はともだち」を児童に指導

平成28年度(2016年4月～2017年3月)

- 4月 熊本地震の被災自治体を支援するため、同県西原村に職員3人を派遣。震災直後の経験から得た行政対応のノウハウを助言
東日本大震災で被災した宮戸小学校と野蒜小学校が統合し宮野森小学校が開校
- 6月 アテネ五輪出場の元バレーボール選手大山加奈さんが矢本西小学校で、競技の基礎的な動きを指導
災害時に非常用発電と太陽光蓄電池を活用した電気の供給を可能にするスマート防災エコタウンが完成
- 8月 宮戸地区の月浜海水浴場が6年ぶりに本格再開
航空自衛隊松島基地で東日本大震災からの復活を伝える「復興感謝イベント」が開催。平成22年以来6年ぶりにブルーインパルスやF-2戦闘機の迫力ある展示飛行などが行われた
- 9月 防災集団移転団地「あおい地区」のまちびらきが行われた
香川県東かがわ市と「災害時相互応援協定」を締結
- 10月 震災の津波で被災したJR旧野蒜駅舎が「東松島市震災復興伝承館」として改修された。スタッフが常駐する館内で震災関連の資料や写真パネルを多数展示
- 11月 東京都大田区と友好都市提携締結
あおい地区に「矢本東市民センター」が完成し、「第11回矢本ひがし地区民まつり」も開かれた
市内最後の防災集団移転団地となる野蒜ヶ丘(野蒜北部丘陵団地)の宅地整備が完了。これを記念して「ひがしまつしま福まつり」が開かれた
- 1月 宮野森小学校の新校舎が防災集団移転地である野蒜ヶ丘に完成し、1月から供用開始

平成29年度(2017年4月～2018年3月)

- 4月 宮戸地区に復興再生多目的施設が完成。愛称を「あおみな」に。市民センターも供用開始
- 5月 東松島市長選挙で初当選した渥美巖市長が初登庁
安倍晋三首相と吉野正芳復興大臣が東松島市を訪問。防災集団移転地の野蒜ヶ丘にある宮野森小学校を訪れ、児童たちと交流
自治体単位でエントリーし住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジデー」が全国一斉に行われた。東松島市は7回目の参加
- 7月 日本オリンピック委員会主催の「オリンピックデー・フェスタ in 東松島」で、北京五輪出場の元バレーボール選手齋藤信治さんらが地元の小学生と交流

- 8月 愛知県弥富市と「災害時相互応援協定」を締結
千葉県君津市のきみつ少年少女合唱団による「復興応援コンサート とどけ歌の力VI」が開催。同合唱団のチャリティコンサートの収益金から10万円の寄附を受けた
- 10月 防災集団移転地の東松島市野蒜ヶ丘地区で、まちびらき祭が開かれ、セレモニーやみこしパレードなどが催された
日本との国交樹立150周年を記念して来日したデンマークのフレデリック皇太子が本市を訪れる。平成23年6月に初めて訪問して以来6年ぶり、当時交流した旧浜市小学校の卒業生の皆さんと再会
- 11月 津波で被災した大曲地区体育館があおい地区に移転新築され、完成を祝う式典が開かれた
第50回東松島クロスカントリー大会が開かれ、市内外から約700人が参加。半世紀の節目を記念し、「ペア2*」の部を新設
東日本大震災により被災された方々への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓を後世に伝承する東松島市東日本大震災復興祈念公園が野蒜地区に完成
愛知県瀬戸市と「災害時相互応援協定」を締結
内閣府からデンマーク王国の「復興ありがとうホストタウン」として登録される。震災からの感謝の気持ち伝え、今後の相互交流を深める
- 12月 東松島市宮戸で使われていない廃漁港の旧鮫ヶ浦漁港に、「水曜日郵便局」が開局（一年間限定）
- 1月 鳴瀬未来中学校の新校舎落成式が同校屋内運動場で開かれ、新たな学び舎の完成を生徒ら約350人が喜び合った
- 3月 小学校敷地内などに移設を進めてきた放課後児童クラブ（学童保育）のうち、赤井南小「ひまわり放課後児童クラブ」が開所
東日本大震災の津波で庁舎が全壊し、東松島市野蒜ヶ丘の高台に移転新築した東松島消防署鳴瀬出張所が開庁
津波で局舎が全壊し、高台に移転新築された野蒜郵便局の営業開始式を、野蒜ヶ丘二丁目で実施

平成30年度（2018年4月～2019年3月）

- 4月 東松島市小松のイオンタウン矢本北側に、社会福祉法人タイケン福祉会（埼玉県）が運営する「ウェルネス保育園矢本」が開園
大阪府松原市と「災害時相互応援協定」を締結
- 5月 福岡県豊前市と友好都市提携の盟約を締結。式典が豊前市総合福祉センターで開かれた
- 6月 政府は優れた取組を提案した全国29自治体を「SDGs 未来都市」として選定。宮城県からは唯一、本市が選ばれる
- 7月 2020東京五輪の事前合宿で東京都大田区を訪れていた男子ハンドボールのブラジル代表選手らが、宮野森小学校に足を運び、児童たちと交流
旧野蒜小学校校舎を改修した防災体験型教育宿泊施設こども未来創造校「KIBOTCHA（キボッチャ）」の全館がオープン
東日本大震災の津波で堤防が決壊するなどした二級河川定川の災害復旧工事が完了。赤井市民センターで記念の式典が開かれた
安倍晋三内閣総理大臣と吉野正芳復興大臣が震災からの復興が進む東松島市を訪問。全国からの自治体派遣職員を激励
- 10月 学校法人タイケン学園＝東京都＝と、同市小野地区の小中2校の校舎を活用して平成32年度の開校を目指す全日制私立高校に関する基本協定を締結
韓国発祥のトレッキングで、国内2か所目の認定となった宮城オルレの「奥松島コース」が10月8日にオープン
- 1月 国連が採択した「持続可能な開発目標」の達成へ、東北地方3市町連携で取り組む「第1回東北SDGs未来都市サミット」を開催
- 2月 震災後から交流を続けているデンマークのロラン市から中学生ら約20人が訪問。地元の中学生らとホームステイで交流を深める
立沼地区と牛網、浜市地区を結び、災害時は避難道路となる「市道立沼・浜市線」が開通
愛知県半田市と「災害時相互応援協定」を締結
- 3月 野蒜地区に対し皇后さまが詠まれた歌を刻んだ御歌碑の除幕式を旧野蒜駅北側の震災復興祈念公園内で実施
本市最後の災害公営住宅となる東松島市柳の目西住宅100戸が完成。市内17地区1101戸の災害公営住宅がすべて整った
「サルビア放課後児童クラブ（矢本東小学校）」、「さくら放課後児童クラブ（矢本西小学校）」と「いちご放課後児童クラブ（赤井小学校）」のお披露目式が行われ、市の関係者や地域住民の皆さんが完成を祝った

平成31年度・令和元年度（2019年4月～2020年3月）

- 4月 休園していた大曲浜地区の県立都市公園矢本海浜緑地が開園し、記念セレモニーが開催。公園には複合遊具や水遊び広場、バーベキュー広場など親子で楽しめる場が設けられたほか、県内最大の計54ホールのパークゴルフ場が新設
- 5月 天皇陛下が退位し、皇太子さまが新天皇に即位。元号は平成から令和に変わり、前天皇陛下は上皇、前皇后美智子さまは上皇后に



- 7月 小松地区に移転新築した「矢本西市民センター」が開所
- 9月 鳴瀬桜華小学校の新校舎建設工事が本格化に合わせた安全祈願祭を実施
「宮城オルレ奥松島コース」が1周年。オルレ発祥の地である韓国からも来賓が出席し、節目を祝ったトレッキングに臨む
- 10月 石巻、東松島の市境で二級河川「定川」の河口にある定川大橋が開通
台風19号で堤防決壊など甚大な被害を受けた埼玉県東松山市に、ブルーシートや土のうなど支援物資を届ける
デマンドタクシー「らくらく号」の土曜試行運行が始まる
- 12月 心あったかイートころ運動スタートから10年目迎える
- 1月 半導体製造装置部品の加工製造などを手掛ける(株)サワ＝本社、山梨県＝宮城工場の第3工場が完成
- 3月 県内で唯一、式典形式の東日本大震災追悼式を実施。マスク着用と手指のアルコール消毒を求め、会場の市民体育館に約350人が参列
ギリシャから東京五輪の聖火を運ぶ特別輸送機「TOKYO2020号」が、国内で最初に東松島市の航空自衛隊松島基地に着陸
将来のまちづくりにつなげるため、市役所前で「スポーツ健康都市宣言」のセレモニーが行われ、17のスポーツ少年団代表の子どもたちを交えて銘板を除幕
震災後に全国から寄せられた千羽鶴を活用したアート作品「千分の一羽鶴 東松島 2020」が完成し、3月11日に、震災復興伝承館でお披露目

令和2年度(2020年4月～2021年3月)

- 4月 小野地区の旧鳴瀬未来中学校校舎を活用して開校を目指していた全日制「日本ウェルネス宮城高校」への県の設置認可が3月に下り、4月1日に開校
社会福祉法人タイケン福祉会＝埼玉県志木市＝運営の認可保育園「ウェルネス保育園赤井」(同市赤井川前)が開園
大塩一小野地区を縦断する県道大塩小野停車場線の上小松地区におけるバイパス工事が完了し、開通式を実施
新型コロナウイルス感染症に伴う政府の「特別定額給付金」の給付を行うため、庁舎西側プレハブ棟に給付金交付推進室を設置
「ウェルネス保育園赤井」がオープン
市内8か所の放課後児童クラブ開所時間を午後7時まで延長
- 5月 宮戸地区復興多目的施設あおみなに、あおみな食堂がオープン
- 8月 県発注の都市計画道路「矢本門脇線」の新設区間である東松島市の大曲工区が完成
「第1回子ども未来サミット」を開催。東北大学スマートエイジング学際重点研修センターの瀧靖之副センター長が講演
- 10月 日本郵便(株)と地域見守りに関する包括的連携協定を締結。総務省の郵便局活性化推進事業「ICTを活用した空き家調査事業」の取組もスタート
東日本大震災の津波で被災し、災害復旧工事が進められてきた「奥松島運動公園」の人工芝の多目的グラウンドや野球場などが、9年半を経てパワーアップして復活
全国自治体からの派遣職員の名板を設置するなど展示物を改装し、震災復興伝承館がリニューアルオープン
赤井排水区の雨水排水施設が完成し、すべての雨水排水事業が完了
- 11月 石巻地区消防本部東松島消防署の庁舎があおい地区北側に完成。訓練棟を屋上に整備し、ブルーインパルスをイメージした外観が特徴
- 12月 津波で被災した奥松島運動公園が東名運河北側に整備され、落成式が行われた
菅総理大臣が、就任後初の震災被災地視察先として宮城県・岩手県を訪れ、東松島市を最初に訪問
- 1月 県が健康づくりへの取り組みを進める企業や自治体、地域団体を称える「第5回健康づくり優良団体表彰」で、本市が大賞を受賞
- 2月 矢本海浜緑地パークゴルフ場の累計利用者数が8万人を達成
- 3月 震災復興伝承館隣りに、空間的総合商業施設「奥松島クラブハウス」がオープン
令和3年東日本大震災東松島市追悼式が行われる
鳴瀬桜華小の新校舎が完成。あわせて、隣接地に放課後児童クラブも完成し、市内8か所の小学校敷地・隣接地への放課後児童クラブの整備が完了
矢本門脇線「定川復興大橋」、奥松島松島公園線「松ヶ島橋」が完成
県松島自然の家が旧・宮戸小学校跡地に本館を整備

東松島市災害支援協定等締結一覧

※協定締結年順、2020年10月19日現在

No	協定締結先	協定名	協定の種類(概要)	締結月日
1	管内各市町	広域石巻圏防災に関する相互応援協定書	相互応援	H8.9.6
2	宮城県、市長会、町村会	災害時における宮城県市町村相互応援協定書	相互応援	H16.7.26
3	市内郵便局	災害時における東松島市内郵便局、東松島市間の協力に関する覚書	相互応援	H17.8.31
4	宮城県	市町村等無線局管理に係る協定書	無線設備	H17.10.14
5	石巻コミュニティ放送株式会社	災害広報活動の協力に関する協定書	災害情報、広報活動	H18.3.24
6	石巻地方広域水道企業団、石巻広域管工事業協同組合	災害時における応急復旧活動等に関する協定書	応急給水・復旧	H18.3.27
7	みやぎ生活協同組合	災害時における応急生活物資の供給協力等に関する協定書	生活物資調達	H18.4.6
8	北海道更別村	姉妹都市災害時相互応援協定書	相互応援	H18.7.1
9	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所	北上川下流河川事務所管内における画像情報提供に関する協定書	画像情報提供	H19.3.15
10	仙台ココ・コーラボトリング株式会社石巻営業所	災害時における飲料水等物資の供給協力に関する協定書	生活物資調達	H19.3.15
11	NPO法人 コメリ災害対策センター	災害時における物資供給に関する協定書	生活物資調達	H19.6.1
12	一般社団法人 東松島市建設業協会	災害時における応急措置の協力に関する協定書	応急措置	H19.7.1
13	イオンタウン株式会社 (ロック開発株式会社)	災害時における支援協力に関する協定書	一時避難場所、水道水、トイレ、災害情報	H19.7.26
14	株式会社 サンデー	災害時における支援協力に関する協定書	生活物資調達	H19.7.26
15	マックスバリュ 南東北株式会社 (イオン株式会社マックスバリュ事業本部東北事業部)	災害時における支援協力に関する協定書	生活物資調達	H19.7.26
16	株式会社 ツルハ	災害時における支援協力に関する協定書	生活物資調達	H19.7.26
17	医療法人 医徳会	災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書	福祉避難所	H19.9.4
18	社会福祉法人 矢本愛育会	災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定 (災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書)	福祉避難所	H19.9.4
19	社会福祉法人 慶和会	災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書	福祉避難所	H19.9.4
20	社会福祉法人 東松島福祉会	災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書	福祉避難所	H19.9.4
21	社会福祉法人 ことぶき会	災害時に要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書	福祉避難所	H19.9.4
22	宮城県美里町	東松島市、美里町消防相互応援協定書	消防相互応援協定	H20.5.1
23	石巻環境保全事業協同組合	災害時におけるし尿・浄化槽汚泥の収集運搬に関する協定書	し尿・浄化槽汚泥収集運搬	H20.9.1
24	一般社団法人 桃生郡医師会 東松島市医師団	東松島市地域防災計画に基づく災害時の医療救護活動に関する協定書	医療救護活動	H21.3.26
25	東北電力株式会社 石巻営業所	災害時における電力設備の復旧等に関する協定書	電力設備の復旧	H21.4.22





No	協定締結先	協定名	協定の種類(概要)	締結月日
26	石巻地区生コンクリート協同組合	災害時における応急措置の協力に関する協定書	応急措置	H21.8.24
27	株式会社 伊藤園	災害時における飲料水等の供給協力に関する協定書	飲料供給	H21.10.8
28	サントリーフーズ株式会社	災害時における飲料供給に関する協定書	飲料供給	H21.10.8
29	社団法人 宮城県エルピーガス協会石巻第2支部、(株)ガス&ライフ	災害時におけるエルピーガス供給協力に関する協定書	エルピーガス供給	H21.11.4
30	東松島市アマチュア無線クラブ	アマチュア無線による災害時の情報伝達に関する協定書	情報収集・伝達	H21.12.22
31	東松島市役所アマチュア無線クラブ	アマチュア無線による災害時の情報伝達に関する協定書	情報収集・伝達	H21.12.22
32	国土交通省東北地方整備局	災害時の情報交換に関する協定書	各種情報交換	H22.1.7
33	株式会社東松島まるせんタクシー 矢本タクシー株式会社	災害時におけるタクシー業務無線の活用に関する協定書	業務無線活用	H22.3.29
34	東京都大田区	災害時における大田区と東松島市との相互応援に関する協定書	相互応援	H23.7.19
35	石巻地区広域行政事務組合	防災行政無線局同報系遠隔制御装置の運用に関する協定書	無線設備	H23.9.1
36	埼玉県東松山市	東松島市と東松山市との災害相互応援に関する協定書	相互応援	H23.11.5
37	山形県東根市	宮城県東松島市と山形県東根市との災害相互援助協定書	相互応援	H23.12.11
38	宮城県美里町	災害時における東松島市と美里町との相互応援に関する協定書	相互応援	H24.3.29
39	宮城県松島町	東松島市と松島町との災害相互応援に関する協定書	相互応援	H24.4.24
40	宮城県大崎市	災害時における東松島市と大崎市との相互応援に関する協定書	相互応援	H24.4.26
41	埼玉県富士見市	富士見市と東松島市との災害時相互支援に関する協定書	相互応援	H24.5.14
42	公益社団法人 隊友会宮城県隊友会東松島支部	災害時における隊友会の協力に関する協定書	災害対策本部運営、情報収集・伝達補助	H24.7.26
43	株式会社 石巻青果	災害時における支援協力に関する協定書	避難場所、避難所、食料提供、物資保管等	H24.9.25
44	佐川急便株式会社 東日本支社	災害時における支援協力に関する協定書	物品の配送・整理・管理及び一時保管	H24.10.9
45	山形地区給食事業協会	災害時における支援協力に関する協定書	給食の調達及び製造	H24.10.9
46	岐阜県美濃加茂市	美濃加茂市と東松島市との災害相互応援に関する協定書	相互応援	H24.11.1
47	宮城県教育委員会教育長	災害時における県立学校の避難所利用に関する基本協定書	避難所	H25.2.22
48	株式会社 ヨークベニマル	災害時における支援協力に関する協定書	一時避難施設	H25.3.22
49	株式会社 コスモスポーツ	災害時における支援協力に関する協定書	避難場所、浴場開放	H25.3.22
50	宮城県東松島高等学校	災害時における宮城県東松島高等学校校舎等の避難所利用等についての覚書	避難所、避難場所	H25.4.2
51	宮城県石巻西高等学校	災害時における宮城県石巻西高等学校校舎等の避難所利用等についての覚書	避難所、避難場所	H25.4.2
52	一般社団法人 宮城県測量設計業協会石巻支部	災害時における被害状況調査に関する協定書	公共土木施設の被害状況調査	H25.7.11
53	東日本電信電話株式会社宮城支店	特設公衆電話の事前設置及び利用に関する覚書	災害時非常用電話の事前設置、利用、管理等	H25.7.17
54	株式会社 高橋徳治商店	災害時における支援協力に関する協定書	避難場所、避難所、食料提供、物資保管等	H25.8.8

No	協定締結先	協定名	協定の種類(概要)	締結月日
55	国立大学法人東北大学 災害科学国際研究所	東松島市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定書	相互連携と協力に関する包括協定	H25.8.21
56	宮城県警察本部	災害時における支援協力に関する協定書	石巻運転免許センター一時避難場所、避難所	H25.11.19
57	株式会社 金魂	災害時における支援協力に関する協定書	一時避難場所、食料提供	H25.11.22
58	公益社団法人 宮城県トラック協会石巻支部	災害時緊急物資の輸送に関する協定書	生活援助物資等の輸送	H25.11.26
59	宮城県石油商業組合 石巻支部	災害時における燃料の供給協力に関する協定書	燃料の供給協力	H26.1.30
60	愛知県小牧市	小牧市と東松島市との災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H26.2.23
61	愛知県清須市	清須市と東松島市との災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H26.2.23
62	愛知県北名古屋市長	北名古屋市長と東松島市長との災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H26.2.23
63	愛知県豊山町	豊山町と東松島市との災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H26.2.23
64	国土交通省国土地理院	地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定書	地理空間情報の相互活用、情報等の提供	H26.3.3
65	愛知県豊田市	災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H26.3.8
66	有限会社 東松島ケアサポート	災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書	福祉避難所	H26.7.2
67	株式会社 たんぽぽ	災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書	福祉避難所	H26.7.2
68	福岡県豊前市	福岡県豊前市と宮城県東松島市との災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H26.8.22
69	社会福祉法人 東松島市 社会福祉協議会	災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書	福祉避難所	H27.4.1
70	メタウォーター株式会社 東北営業部	災害時における物資供給に関する協定書	生活物資調達	H27.6.23
71	国土交通省東北地方整備局	東北地方津波防災支援システムの活用に関する協定書	津波観測情報の提供	H27.9.7
72	株式会社 日立製作所東北支社	災害時応援に関する協定書	応援協定	H28.4.1
73	宮城県名取市	原子力災害等の発生時における東松島市民の広域避難に関する協定書	原子力災害等の広域避難	H28.9.7
74	宮城県亘理町	原子力災害等の発生時における東松島市民の広域避難に関する協定書	原子力災害等の広域避難	H28.9.8
75	東芝インフラシステムズ 株式会社東北支社 (株式会社 東芝東北支社)	災害時における支援協力に関する協定書	応援協定	H28.9.9
76	香川県東かがわ市	災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H28.9.10
77	宮城県山元町	原子力災害等の発生時における東松島市民の広域避難に関する協定書	原子力災害等の広域避難	H28.9.12
78	宮城県岩沼市	原子力災害等の発生時における東松島市民の広域避難に関する協定書	原子力災害等の広域避難	H28.9.21
79	宮城県立石巻支援学校	災害時における宮城県立石巻支援学校校舎等の福祉避難所利用等についての覚書	福祉避難所	H29.3.16
80	東松島市内郵便局 石巻郵便局	災害発生時の対応と平常時における見守り活動の相互協力及び道路損傷等発見時の対応に関する協定書	応援協定	H29.4.10
81	愛知県弥富市	災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H29.8.9
82	愛知県瀬戸市	災害時相互応援に関する協定書	相互応援	H29.11.10
83	宮城県仙台市	原子力災害等の発生時における東松島市民の広域避難に関する協定書	原子力災害等の広域避難	H29.12.1
84	社会福祉法人 やすらぎ会	災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書	福祉避難所	H29.12.4



No	協定締結先	協定名	協定の種類(概要)	締結月日
85	宮城県泉松陵高等学校	災害時における宮城県泉松陵高等学校の避難所利用についての覚書	原子力災害等の広域避難	H30.2.7
86	宮城県仙台南高等学校	災害時における宮城県仙台南高等学校の避難所利用についての覚書	原子力災害等の広域避難	H30.2.23
87	宮城県泉館山高等学校	災害時における宮城県泉館山高等学校の避難所利用についての覚書	原子力災害等の広域避難	H30.3.20
88	宮城県仙台向山高等学校	災害時における宮城県仙台向山高等学校の避難所利用についての覚書	原子力災害等の広域避難	H30.3.22
89	宮城県仙台三桜高等学校	災害時における宮城県仙台三桜高等学校の避難所利用についての覚書	原子力災害等の広域避難	H30.3.26
90	宮城県泉高等学校	災害時における宮城県泉高等学校の避難所利用についての覚書	原子力災害等の広域避難	H30.3.26
91	ファーストメディア株式会社 三井住友海上火災保険株式会社仙台支店	東松島市の避難所等情報提供に関する協定書	避難所等情報提供	H30.4.12
92	大阪府松原市	東松島市・松原市災害時相互応援協定書	相互応援	H30.4.20
93	株式会社 ガス&ライフ	災害時における支援協力に関する協定書	避難場所、浴場開放	H31.1.31
94	愛知県半田市	東松島市・半田市災害時相互応援協定書	相互応援	H31.2.12
95	株式会社 ダンロップスポーツウエルネス	災害時における支援協力に関する協定書	避難場所、浴場開放	H31.3.28
96	ヤフー株式会社	災害に係る情報発信等に関する協定書	災害に係る情報発信等	R2.2.28
97	宮城県教育委員会	災害時における支援協力に関する協定書	宮城県松島自然の家の避難場所、避難所、食料提供、物資保管等	R2.3.24
98	石巻地区森林組合	災害時における応急措置の協力に関する協定書	応急措置	R2.3.24
99	一般社団法人石巻薬剤師会	災害時における医療救護活動に関する協定書	医療救護活動	R2.3.24
100	宮城トヨタ自動車株式会社、仙台トヨペット株式会社、トヨタカローラ宮城株式会社、ネットトヨタ仙台株式会社、ネットトヨタ宮城株式会社	災害時の避難所等における外部給電可能車両の貸与に関する協力協定書	外部給電可能車両の貸与	R2.7.15
101	宮城三菱自動車販売株式会社	災害時等における電動車両及び給電装置の貸与に関する協力協定書	電動車両及び給電装置の貸与	R2.7.27
102	株式会社ワタベ産業、JUAVACドローンエキスパートアカデミー仙台校	ドローン活用パートナーシップ協定書	災害時の映像、画像等の情報収集及び提供	R2.7.30
103	株式会社NOMCO&CO.	災害時における施設等の利用に関する協定書	フォーシーズン矢本の避難所、駐車場利用	R2.8.07
104	株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城	災害時における施設等の利用に関する協定書	バリュー・ザ・ホテル東松島矢本の避難所、駐車場利用	R2.8.25
105	貴凜庁株式会社	災害時における施設等の利用に関する協定書	KIBOTCHAの避難所、駐車場利用	R2.10.19



東松島市に職員を派遣いただいた自治体一覧

2011年度～2020年度

都道府県市区町	人数
北海道	2
北海道函館市	8
北海道北見市	3
北海道美唄市	1
青森県十和田市	3
青森県むつ市	2
宮城県	26
宮城県仙台市	5
宮城県大崎市	1
宮城県富谷市	1
宮城県涌谷町	1
宮城県美里町	1
山形県東根市	9
栃木県小山市	5
栃木県益子町	1
群馬県明和町	2
埼玉県さいたま市	11
埼玉県川越市	3
埼玉県東松山市	16
埼玉県越谷市	6
埼玉県戸田市	1
埼玉県新座市	5
埼玉県久喜市	5
埼玉県富士見市	2
千葉県我孫子市	3
東京都大田区	15
東京都中野区	11
東京都調布市	2
神奈川県	7
神奈川県川崎市	5
神奈川県湯河原町	1
富山県富山市	2
富山県小矢部市	2
福井県福井市	1
岐阜県美濃加茂市	6
静岡県伊豆市	1
愛知県	6
愛知県瀬戸市	4

都道府県市区町	人数
愛知県豊川市	1
愛知県豊田市	11
愛知県小牧市	2
愛知県清須市	5
愛知県北名古屋市	5
愛知県弥富市	1
愛知県豊山町	6
三重県津市	2
京都府京都市	5
大阪府枚方市	5
大阪府松原市	3
兵庫県	16
奈良県天理市	1
鳥取県伯耆町	1
岡山県	2
岡山県岡山市	1
広島県広島市	7
広島県庄原市	12
山口県防府市	2
香川県	3
香川県高松市	7
香川東かがわ市	2
愛媛県松山市	15
福岡県直方市	5
福岡県大川市	5
福岡県豊前市	3
福岡県桂川町	1
福岡県福智町	1
熊本県	5
熊本県熊本市	17
熊本県人吉市	2
熊本県山鹿市	2
熊本県菊池市	1
熊本県天草市	3
熊本県あさぎり町	1
千葉県土地開発公社	1
合 計	348

※のべ人数



復興交付金執行状況

単位：百万円

番号	事業名	事業費
A-1	公立学校施設整備費国庫負担事業(公立小中学校等の新增築・統合)	2,263
A-2	学校施設環境改善事業(公立学校の耐震化等)	172
A-4	埋蔵文化財発掘調査事業	117
C-2	農山漁村活性化プロジェクト支援(復興対策)事業(被災した生産施設、生活環境施設、地域間交流拠点整備等)	696
C-5	漁業集落防災機能強化事業(漁業集落地盤高上げ、生活基盤整備等)	1,795
C-6	漁港施設機能強化事業(漁港施設用地高上げ、排水対策等)	688
C-7	水産業共同利用施設復興整備事業(水産業共同利用施設、漁港施設、放流用種苗生産施設整備等)	97
C-9	木質バイオマス施設等緊急整備事業	28
D-1	道路事業(市街地相互の接続道路等)	7,864
D-2	道路事業(高台移転等に伴う道路整備(区画整理))	15,106
D-4	災害公営住宅整備事業等(災害公営住宅の整備、災害公営住宅に係る用地取得造成等)	27,261
D-5	災害公営住宅家賃低廉化事業	4,946
D-6	東日本大震災特別家賃低減事業	592
D-13	住宅・建築物安全ストック形成事業(かけ地近接等危険住宅移転事業)	866
D-15	津波復興拠点整備事業	3,701
D-17	都市再生区画整理事業(被災市街地復興土地区画整理事業等)	24,598
D-20	都市防災推進事業(都市防災総合推進事業)	644
D-21	下水道事業	24,374
D-22	都市公園事業	14
D-23	防災集団移転促進事業	32,544
E-1	低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業	55
F-1	漁業集落復興効果促進事業(一括配分)	109
F-2	市街地復興効果促進事業(一括配分)	10,839
合 計		159,369

(2021.3.31 見込み額)

※番号のAは文部科学省、CおよびF-1は農林水産省、DおよびF-2は国土交通省、Eは環境省の事業。



東日本大震災復興記録誌

発行日 2021年(令和3年)3月31日

発行 宮城県東松島市

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸36番地1

TEL 0225-82-1111(代) FAX 0225-82-8143

編集制作 株式会社石巻日日新聞社

